

令和元年 8月25日(日)

ファッション甲子園2019 審査員長特別賞受賞

～ 繊維科3年生 好光廉君、八木友里恵さん、武正有貴さん ～

第19回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会（通称：ファッション甲子園）の最終審査会が8月25日（日）に青森県弘前市で行われ、本校繊維科3年生の好光廉君、八木友里恵さん、武正有貴さんのチームが、審査員長特別賞を受賞しました。

大会は全国2771チームの中から予選を通過した34チームが、デザイン画から制作した衣装で、高校生ファッションのナンバーワンを競いました。本校チームは、竹や籐を素材にした作品「竹取の翁」（デザイン：好光廉）を披露しました。デザインとモデル担当の好光廉君は「チームの皆に感謝して、堂々とランウェーを歩きました。入賞ができて嬉しいです。」また、衣装を制作した八木友里恵さんと武正有貴さんは「まさか、賞をいただけるとは思っていませんでした。しんどい時もあったけど、とても嬉しいです。」と語っていました。3人が持てる力を存分に発揮して入賞を果たすことができ、高校生活で最高の思い出を作ることができました。



大会会場



衣装の準備をする本校チーム



ランウェーを歩く好光君



衣装を説明する武正さんと八木さん



ランウェーを歩く好光君



ランウェーを歩く好光君



本校チーム



出場者全員の集合写真

[補足] 大会前の愛媛新聞の関係記事

作品の最終調整を行う(左から)八木さん、好光さん、武正さん

ファッション甲子園 25日に最終審査

竹の衣装 入賞狙う

25日に青森県弘前市で行われる全国高校ファッションデザイン選手権(ファッション甲子園)最終審査会に、松山工業高校繊維科3年の3人が愛媛代表として挑む。竹を使ったユニークな作品で、本番に向けて最終調整を進めている。

松山工高生 準備着々

松山工業高の作品は、好光廉さん(18)が構想した竹取物語に登場する「おきん」や侍をイメージしたデザインを基に、八木友里恵さん(18)と武正有貴さん(18)が制作した。強さを表現するワイドシルエットのパンツにすだれを縫い付け、おにぎりを包む竹の皮で作った「うろこ」をトップスの袖にあしらった、よい風仕に仕上げた。最終審査会でモデルを務める好光さんは「入賞目指して、胸を張って歩く」。八木さんと武正さんは「舞台できれいに見えるように

サポートしたい」と意気込んでいる。選手権は毎年開催。今回は1次審査に応募した123校2771点から選ばれた35チームがファッションショー形式の最終審査会に出場する。(森岡岳夢)